

修了生代表挨拶

本日は、私達修了生のためにこのような盛大な修了式を催していただきまして、誠にありがとうございます。また、この度はご多忙の中、プログラム担当の先生方、専任教員の皆様、ご来賓の皆様にお越しく下さいましたことを厚く御礼申し上げます。また、修了生代表としてあいさつを述べるという光栄を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

本日をもって私達はグローバル安全学トップリーダー育成プログラムを修了し、それぞれ新しいフィールドに活動の場を移すこととなりますが、このプログラムで過ごした日々は、私達博士学生にとって濃密でかけがえのない経験になったのではないかと思います。私自身この三年半を振り返ってみますと、プログラム生やプログラム関係者の方々との交流の日々が思い出されます。特に、本プログラムに参画する学生は各々が異なる専門分野を研究しているだけでなく、各々がユニークで優れたパーソナリティを持っています。彼らとの交流は、自身の専門分野に固執するあまり視野が狭くなりがちだった私にとって、研究・日常生活両面において大きな進歩が得られたのではないかと思います。しかし一方で、正直に申し上げると当初はプログラムに参画することで、プログラムの活動に時間を取られ、自身の研究が進まなくなるのではないかという懸念があったことも事実です。実際に一年目はC-lab研修を始めとした慣れない活動も多く、今思えば忙しい毎日を過ごしたように思います。しかし逆に、これによって限られた時間の中で効率よく成果を出す術を学ぶことができたと考えています。このため、私達プログラム修了生は、通常の博士生活では経験し得ないような貴重な時間を過ごさせていただき、今後人々を導くリーダーとして大切な俯瞰力・コミュニケーション能力・問題設定力といった様々な能力を成長させることができたと確信しております。

私達は、本プログラムを通じて様々な学びや実践をする機会をいただきましたが、今度はその知識や経験をもとに社会に貢献する番が来たと思っています。社会貢献の方法は色々ありますが、私達は本プログラムを修了した博士人材であるという独自の強みがあります。そして、本プログラムが掲げる異分野融合教育を通じて、私達修了生は異分野の知を結集させ問題解決を図ることができる素養を既に身に着けているのではないかと思います。この強みを活かし、今日の高度で複雑化した社会的課題の解決において、先導的な役割を果たすことが私達修了生の最大の社会貢献であり、修了生としての責任であると感じています。そして、これまで本プログラムを修了していった先輩方やこれから修了する同輩、プログラム関係者の皆様に恥じない活躍ができるよう、今度とも精進していく所存です。

最後になりますが、このような学びの場を提供して下さったグローバル安全学トップリーダー育成プログラム担当の先生方、未熟な私達を支えご指導下さいました専任教員の皆様、私達の学生生活に関して様々なご支援下さいました職員の皆様、ともに切磋琢磨し支えあった学生諸氏に心から御礼申し上げるとともに、リーディングプログラムの発展をお祈り申し上げ、修了生代表のあいさつとさせていただきます。

平成30年9月26日
修了生代表 津田 慎一郎